

■ 教育目的

コミュニティファーマシー(地域薬局)のあるべき姿を考えていく上で、薬局の役割や業務内容、患者の安全確保とQOLの貢献、服薬指導、かかりつけ薬剤師、OTC医薬品、セルフメディケーションなどの基本的知識も修得する。それらを活用するための基本的態度も修得する。また、社会全体の中における地域住民に対する健康相談、健康サポート薬局としての役割を理解する。(知識、技能、態度)【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑤】

■ 学習到達目標

1. 社会全体の中で地域薬局のあるべき姿を討議する。(知識・態度)
2. 薬局の業務運営を概説する。(知識)
3. セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(知識・技能・態度)
4. OTC 医薬品を利用したセルフメディケーションを修得する。(知識・技能)
5. かかりつけ薬剤師、健康相談、健康サポート薬局の意義を理解する。(知識)
6. 服薬指導上の注意点を調べ列挙できる。(知識、技能)

■ 準備学習(予習・復習)

予習：薬局薬剤師の業務について調べておく。(30分以上)

復習：学んだ知識をもって薬剤師の仕事を確認する。(30分以上)

■ 授業形態

講義

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～3	地域薬局の役割(1)	地域貢献、学校薬剤師、地域連携、災害医療、医療費の適正化、健康サポート薬局、健康相談、医薬分業のしくみと意義、かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師	B(4)-①-1～3,5,6、②-2,3、F(1)-③-1、(5)-②-1、④-1
4～5	疑義照会 服薬指導の基本	不適切な処方箋と疑義照会 守秘義務、服薬指導上の注意点、生活指導、薬歴管理、薬剤交付後の介入・支援	F(1)-②-1、F(2)-②-1,4,5,6,11、④-7
6～7	地域薬局の役割(2)	在宅医療、居宅介護、包括医療	B(4)-②-1,2,4,5 F(4)-②-1,2、(5)-①-1～3、③-1
8	セルフメディケーション(1)	セルフメディケーションの概念、OTC 医薬品の基礎、サプリメント、保健機能食品等	B(4)-①-4
9	セルフメディケーション(2)	セルフメディケーションにおける OTC 医薬品の選択	B(4)-①-4
10	OTC 医薬品推奨の留意点(1)	OTC 医薬品の服薬指導の実際	F(1)-②-2、(2)-④-2,3、(3)-③-3、(5)-③-2～4
11	OTC 医薬品推奨の留意点(2)	OTC 医薬品の服薬指導の実際(医療用医薬品との対比)	F(1)-②-2、(2)-④-2,3、(3)-③-3、(5)-③-2～4
12～14	薬局の業務運営(1)(2)	薬局の業務運営、流通のしくみ 医療保険制度、調剤報酬、保険薬剤師療養担当規則、保険医療療養担当規則	B(3)-①-5～7、②-3、(4)-①-1,3 F(1)-②-1、③-2,5
15	総合演習	まとめ	

■ 授業分担者

山崎 紀子(No.1～5・15)、宮沢 伸介(No.6～9)、菅野 敦之(No.10～14)

■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、解説・説明をする。定期試験の成績 100% で評価する。

■ 教科書

講義プリント

■ 参考書

『調剤学総論 改定 13 版』堀岡 正義著(南山堂)、『薬事法規・制度及び倫理解説(2020-21 年版)』薬事衛生研究会編集(薬事日報社)、『OTC 薬ガイドブック第 3 版 選ぶポイントすすめるヒント』堀 美智子監修(じほう)